

## ◆議論の内容◆

度重なる議論を経て、次の点が明らかになっています。

### (1) 議論から導き出されたこと

- 早く、そして、無駄のない経費で再建すること
- 校舎は、小学校と中学校の一体化で検討すること

#### [理由]

- ・制約のある環境を一刻も早く取り戻す必要があること。
- ・小学校及び中学校を一体化した校舎とすることで教育的効果が高まること。
- ・早来小学校の老朽化が進んでいるため、中学校単独の再建よりも小・中一体化の方が将来的な町の経費を節約できること。

### (2) 議論から見てきた課題

- 町の費用負担をどう捻出するのか？
- 安平小学校と遠浅小学校はどうなるのか？

早来小学校・中学校以外の学校の老朽化している現状を踏まえ、今後の対策を考えていく必要があります。また、安平小学校や遠浅小学校との「格差」を生じさせない仕組みを検討する必要があります。

### ポイント

安平小学校と遠浅小学校の統合は、現時点では検討しません。理由は、中学校再建と両方考慮すれば協議や作業でより多くの時間が必要です。統合の問題は、今後の両校の児童数の推移に基づき、再建の議論とは別に検討していきます。

## ◆今後の対応◆

住民監査請求におけるご指摘内容を含め、「周知不足」・「内容がよく判らない」といったご指摘をいただいている現状があります。これらのお声を反省材料として、今後は次のとおり進めていきます。

- 「新しい学校を考える会」での協議手順・協議内容の充実
- 学校再建をテーマとした討議の場の新設
- 学校運営協議会（コミスク）の活用

これまで実施してきたワークショップ形式による「考える会」を今後も継続してより多くの方々に参加していただきながら、常任の委員を置いた形での討議の場を設置し、地域の幅広い分野の方々が参画する各学校・子ども園の「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」に審議会的役割りを担っていただき議論を加速させます。

## ◆まとめ（方向性の再確認）◆

「早く」そして「無駄のない経費」を目標に、皆様のご意見をしっかり踏まえながら今後の議論を進めていきます。